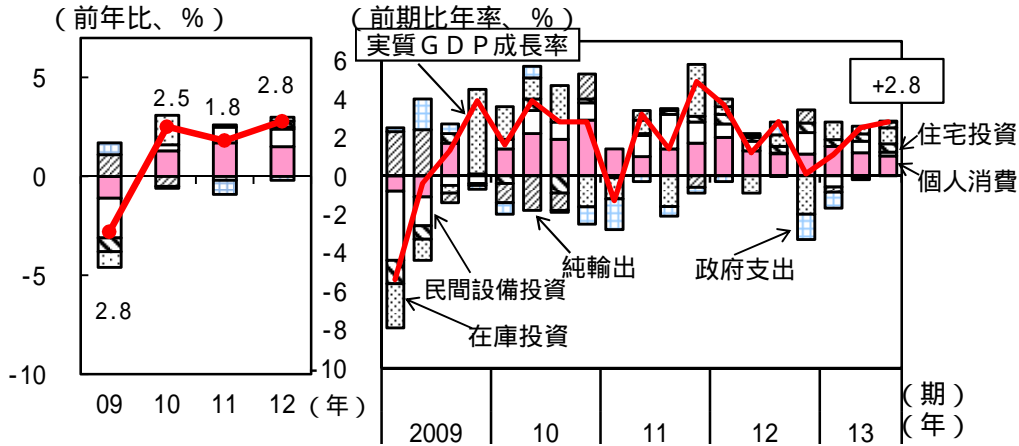


1. アメリカ

アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。

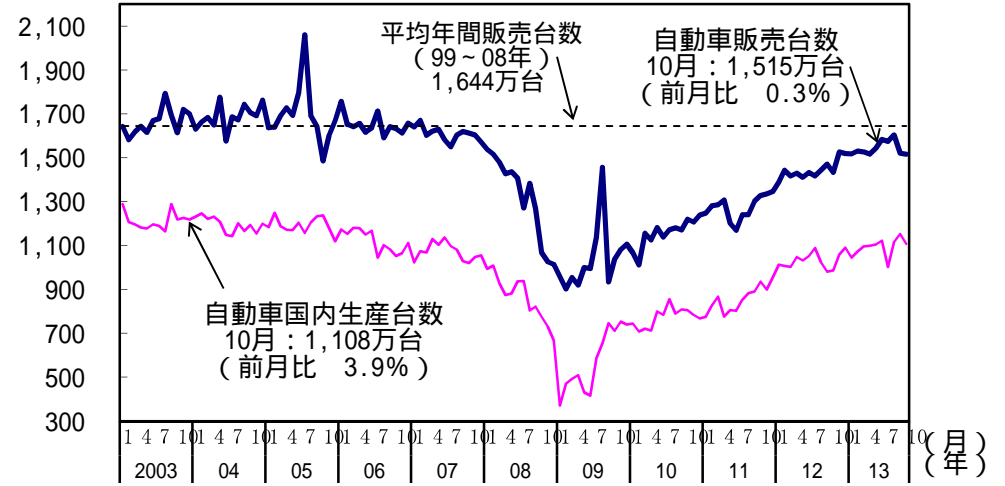
実質GDP成長率（1次推計値）
2013年7～9月期は前期比年率+2.8%成長



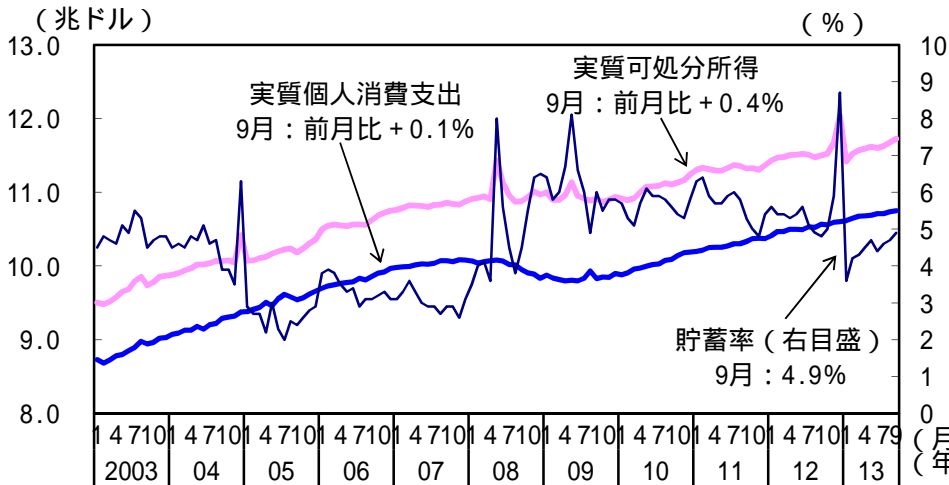
(備考) 2013年7～9月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.0、民間設備投資：0.2、住宅投資：0.4、在庫投資：0.8、政府支出：0.0、純輸出：0.3。

自動車販売台数は足下減少

(年率、万台)



消費は緩やかな増加傾向

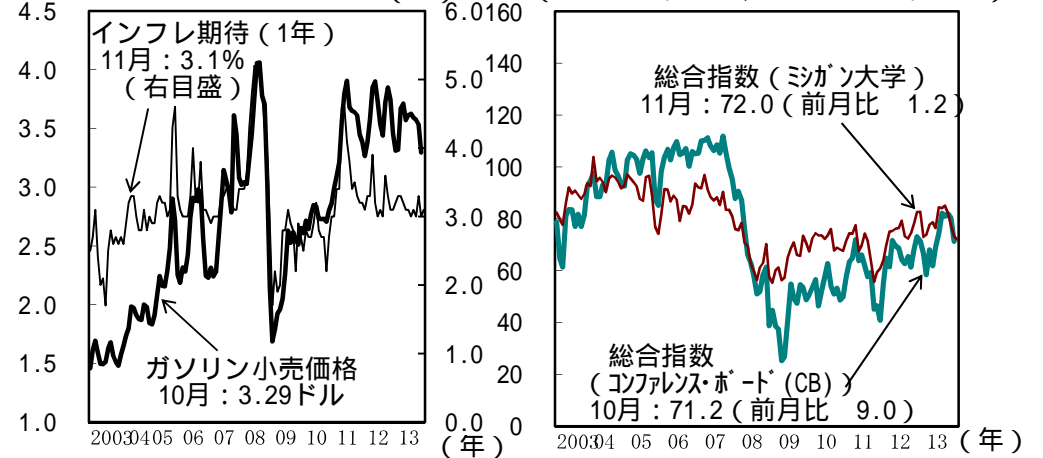


消費者信頼感指数はこのところ低下

(ドル/ガロン)

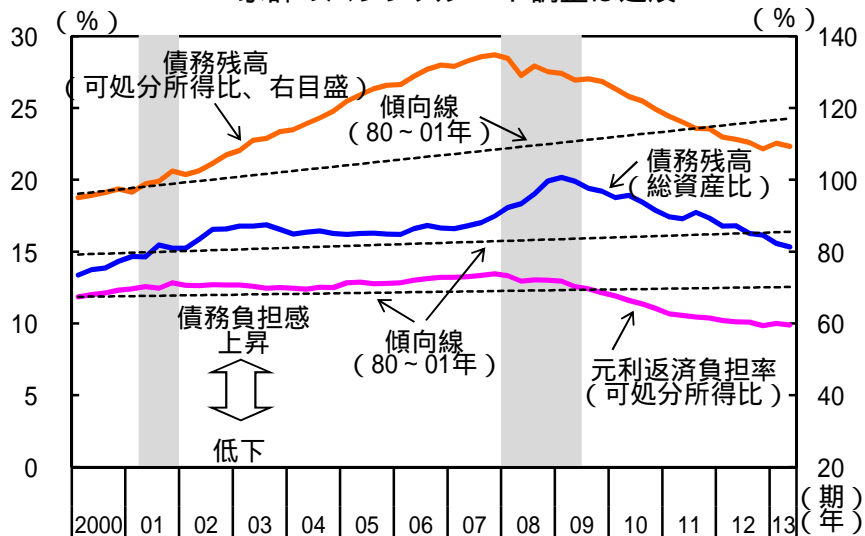
(%)

(CB: 1985年 = 100、ミガン: 1966年 = 100)



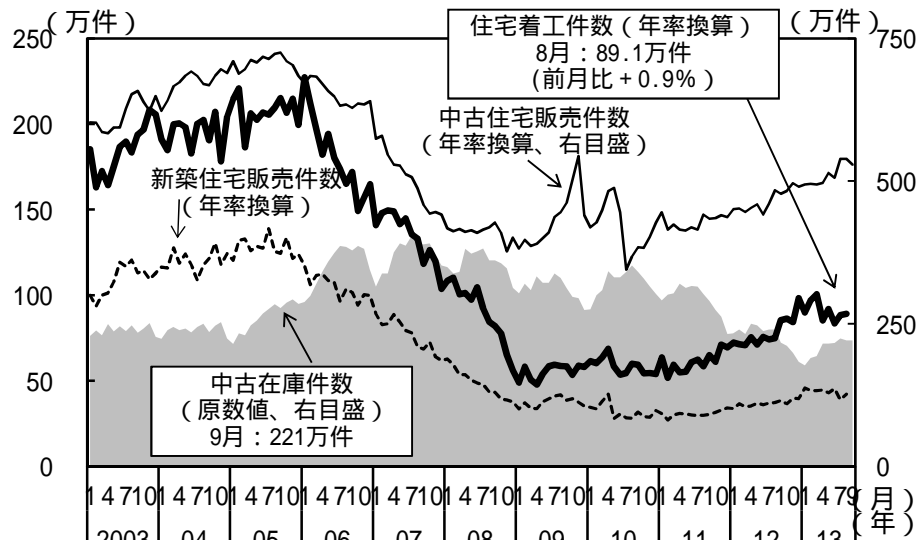
(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

家計のバランスシート調整は進展



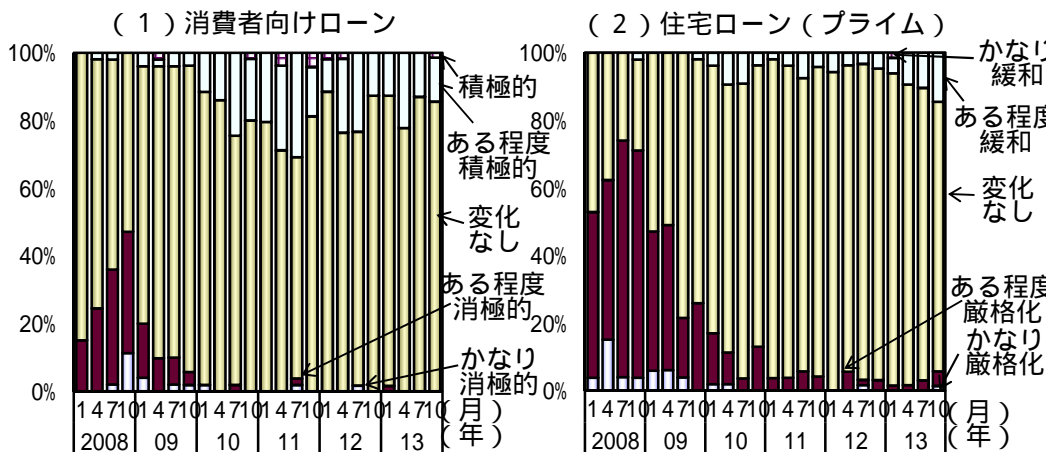
(備考) 1. 網掛け部分は景気後退期を指す。
2. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

住宅着工はおおむね横ばい



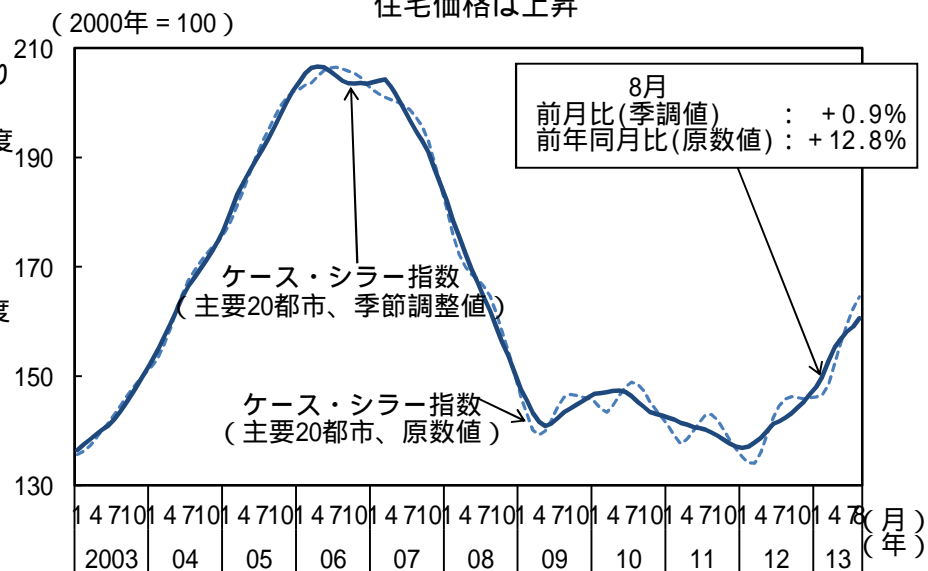
(備考) 13年9月の販売件数に対する中古在庫の割合は5.0ヵ月分、コアロジックが公表する市場にでていない潜在的な在庫(7月)は4.2ヵ月分に相当。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

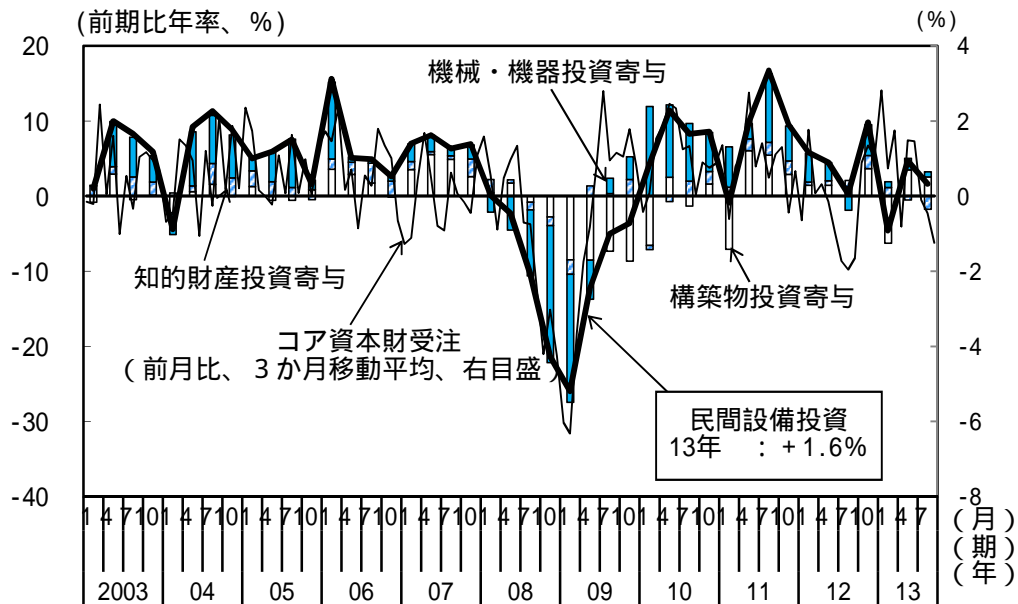


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3か月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

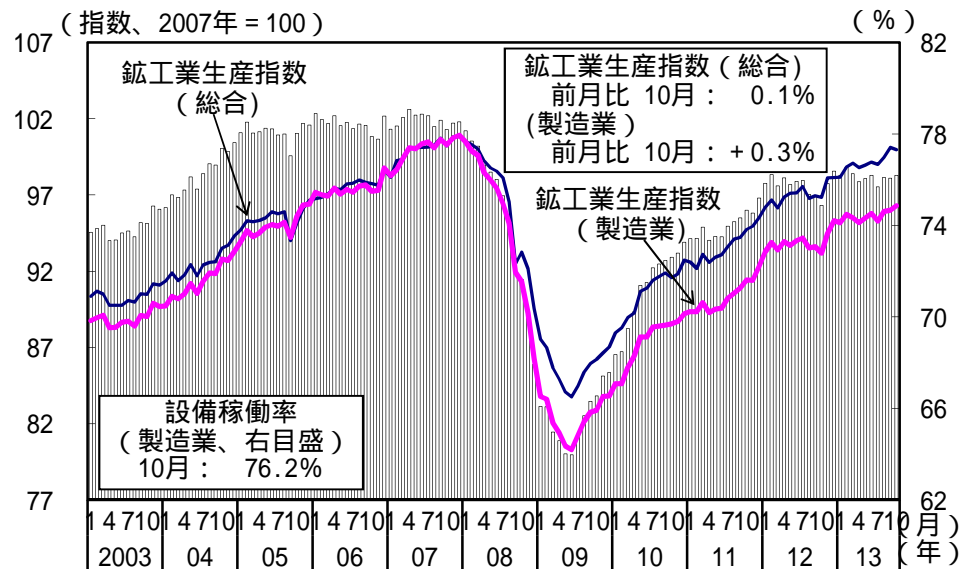
住宅価格は上昇



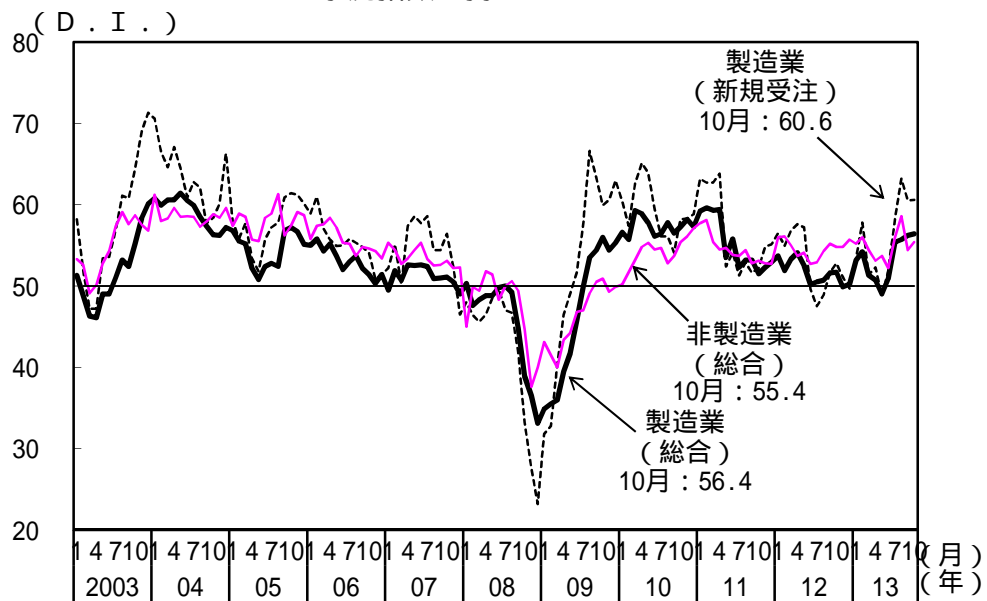
設備投資は緩やかに持ち直し



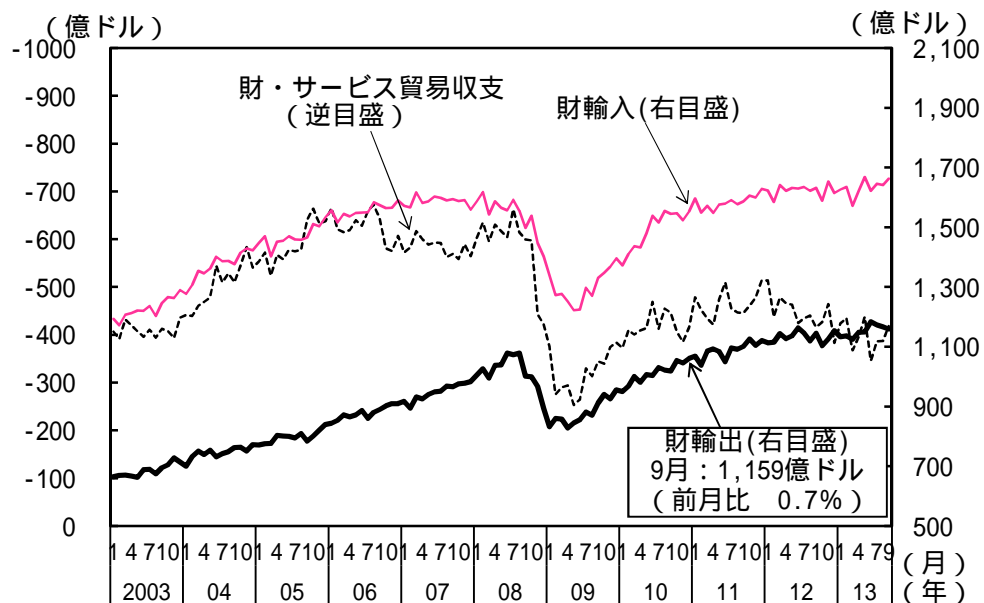
生産はこのところ持ち直し



景況指数は持ち直し

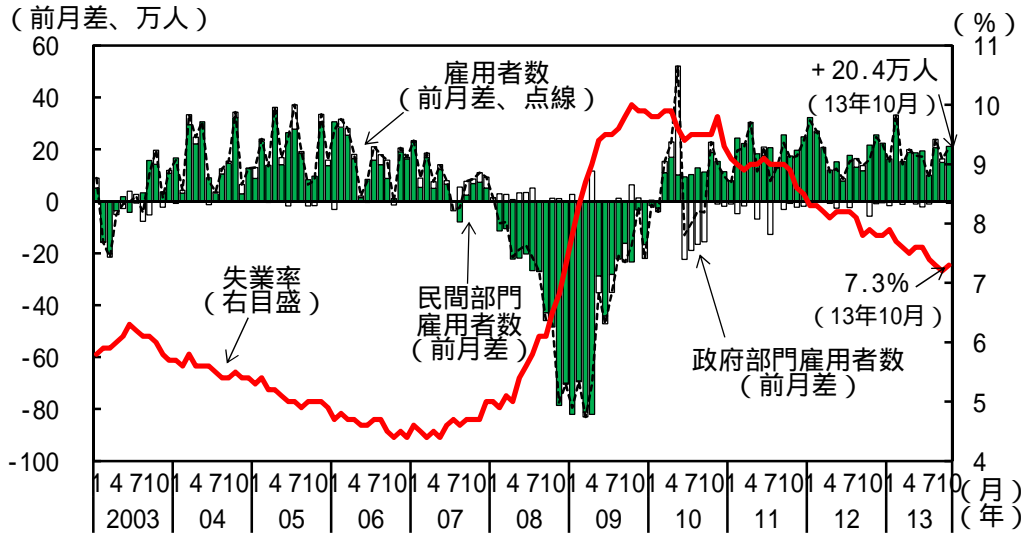


財輸出はおおむね横ばい



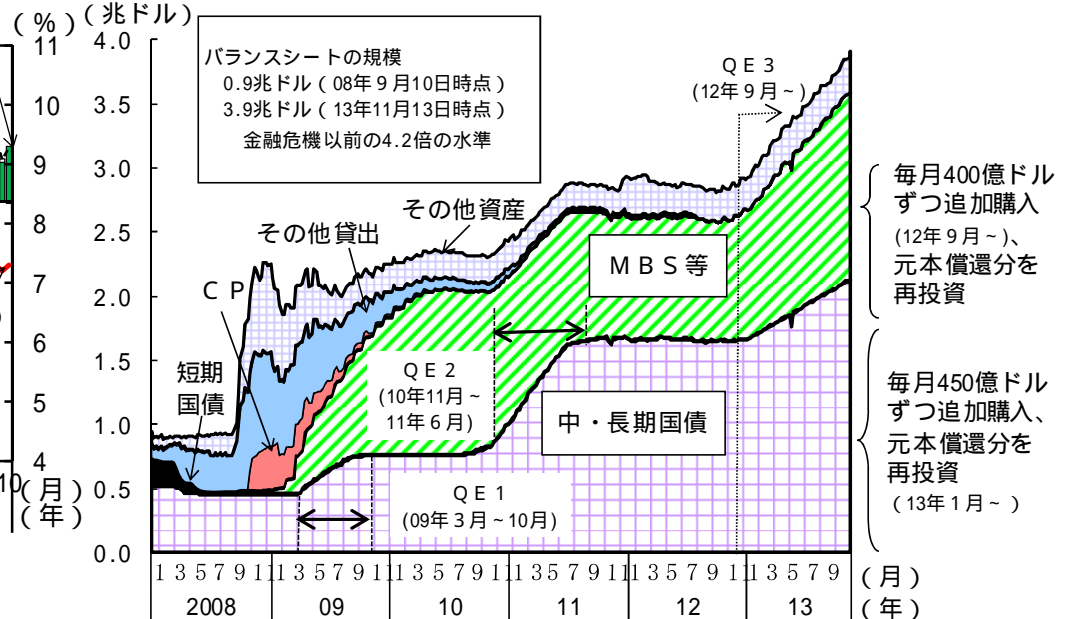
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向



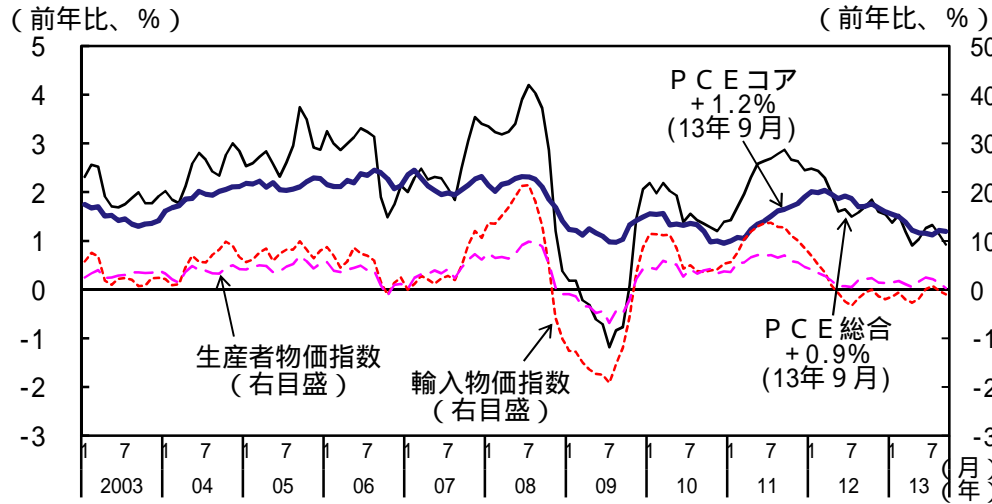
(備考) 1. 雇用者数は非農業部門。
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.9万人、10年以降の雇用者数の増減は +718.1万人。

FEDのバランスシート(資産サイド)

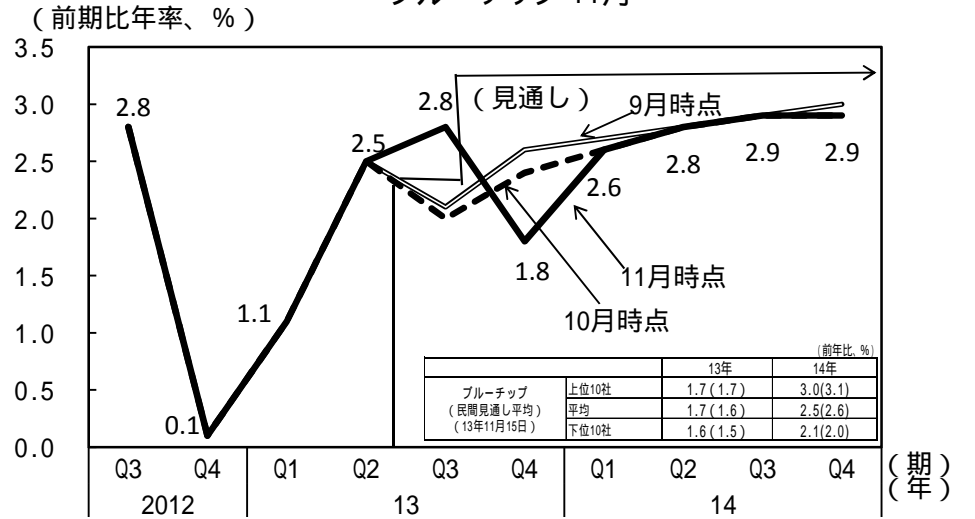


ブルーチップ 11月

コア物価上昇率はおおむね横ばい



(備考) コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。



(備考) ブルーチップのカッコ内は、13年10月10日時点の見通し。